

日 本 史

(問 題)

2012年度

〈2012 H24063324〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確にでいねいに記入すること。
記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。

受験番号は正確にでいねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムででいねいに、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

縄文時代は1万数千年前に始まり、おおよそ3000年前まで存続して弥生時代に引き継がれた。長きにわたる無文字社会の中で、文化と社会は徐々に複雑性を高めていったと考えられる。後期旧石器時代文化との連続性については不明な点が多い。縄文時代の開始期に相当する **A** 期以降は、温暖化した自然環境の下^aで、大陸につながる陸橋が失われて隔絶したために、日本列島には独自で固有の縄文文化・社会が繁栄したと考えられる。しかし、世界史的視点でながめると、はるか極東にありながら生業や各種の技術的要素の多くが西アジア等の新石器文化と一致する点^bは、人類に共通の社会進化と関連して興味深い。

縄文社会は、集落や墓の構成から判断して、おおよそ血縁関係と地縁関係に重点を置いた社会だと言えるが、それに加えて信仰や祭祀・儀礼などを通じた社会的なまとまりが観察され、部族的な集合体^cとして機能していたらしい。

縄文時代には、中期以降に土偶や石棒、土面など、呪術と祭祀・儀礼^dをものがたる製品が多く生み出され、先祖祭祀や精霊崇拝に基づくシャーマニズムなどの精神活動をうかがい知ることができる。

しかし、紀元前1000年頃から、朝鮮半島を経由して大陸系の文化が渡来し、主に北部九州を中心として、在来^eの縄文文化との間に接触・融合が行われ、文化変容の結果、新たに弥生文化が形成されるようになった。その後、新たな文化は広く列島各地に波及した。

〔問〕

- 1 空欄Aにあてはまる縄文時代の6時期区分の用語は何か。記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 2 下線aの説明として誤ったものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 気候が温暖化して、氷雪の融解と共に海水面が汎世界的規模で上昇した。
 - イ 低地部に海水が浸入し複雑に入り組む遠浅の入り江が各地に出現した。
 - ウ 日本海側の冬季の降雪が顕著になり、ブナ林を中心とした植生が生み出された。
 - エ 亜寒帯性の植生から落葉広葉樹林、照葉樹林等の植生に徐々に変化した。
 - オ マンモスやオオツノジカなどの北方系動物群が、本州から北海道方面に移動した。
- 3 下線bの説明として誤ったものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 主な生業として植物栽培や牧畜が行われた形跡が見られる。
 - イ 土器の製作が各地で行われた。
 - ウ 弓矢などが用いられ、狩猟活動も継続した。
 - エ 石斧などの石器に磨製技術が用いられた。
 - オ 土製のヒト形などの造形が行われ、信仰や祭祀・儀礼と関係する物品が生産された。
- 4 下線cの説明として正しいものを2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 機動的で部族的なまとまりを持ちながら国家を形成した。
 - イ 地縁的・血縁的な紐帯を基盤にして、親族組織や婚姻に基づく地方集団を構成した。
 - ウ 10数人程度からなる小規模集団が移動性に富んだ社会を形成した。
 - エ 豊かな自然資源に基づいて定住社会を形成した。
 - オ 平等性が広く行きわたり、位階や階層性のない完全な平等社会が形成された。
- 5 縄文時代に関する下線dの説明として誤ったものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 通過儀礼や先祖に関する祭祀・儀礼が親族組織などを中心に行われた。
 - イ アニミズム的な信仰や呪術、儀礼が行われ、以後の文化・社会に影響を残した。
 - ウ 儀礼的交換や祭祀・儀礼を契機として、集団間の交流が促進された。
 - エ 祭祀・儀礼は社会の停滞性をものがたり、社会の進歩とは全く無関係であった。
 - オ 縄文時代の経済や政治は、祭祀・儀礼などの社会的側面に融合的に組み込まれた。

6 下線 e の説明として正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 渡来系の物品が流入して融合しただけで、人的な渡来・混血はなかった。
- イ 渡来系土器と縄文式土器との融合の結果、北部九州の弥生式土器が生み出された。
- ウ 渡来系住民は在来の縄文人の一部と接触したが、大部分を北方地域へ駆逐した。
- エ 縄文時代の石器は渡来系石器と融合し、そのままの形で残存することはなかった。
- オ 北海道方面でも弥生文化が流入し、縄文文化から弥生文化に変化した。

〔Ⅱ〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

『続日本紀』によると、A 国秩父郡から「和銅」が献上されたので、年号を「和銅」に改めたとある。そして同時に、銭貨鑄造がはじまるが、その銭貨には「B」の4文字がみえる。このうち、2文字目の意味や、4文字目の字形などについては、さまざまな意見がある。

このBは、通貨として円滑に機能したわけではなかった。まず、最初にC銭が発行され、ついでD銭が発行された。はじめにC銭が発行されたのは、これ以前からCが貨幣価値をもっていたからである。しかし、律令国家は、C銭とD銭との交換比率を明示しながら、D銭への一本化を誘導することに努めた。

だが、租・庸・調や労役などを課す実物（人も含む）本位の国家財政体系とその社会は、そもそも、銭貨を用いた流通経済と容易になじむものではなかった。そこで、これまで貨幣価値を担ってきた布や稻（または穀）と銭貨との交換比率を明示しながら、銭貨の流通を促さざるを得なかった。また、^a京から諸国に帰る役夫や運脚が銭貨を用いて途次の食糧調達にあたることを推奨した。

711年の詔^cも、その苦心のあらわれであった。銭貨を用いて交易することを知らない習俗を改めるという理由のもとで、たくわえた銭貨の額に応じてEをおこなうと宣言し、銭貨の効能を訴えたのである。ところが、8世紀末以降になると、今度は逆に、銭貨をたくわえることを禁止している。その理由は、人々の「利」を均等にするために銭貨の流通を促してきたのであるが、今や、銭貨が「利」の不均等を加速しているというのである。

このように、銭貨をめぐる政策が動揺し、ひいては相反する政策が出されるに至ったのは、現実社会の変化に対応するためであったが、基本的には、律令国家の財政体系と銭貨流通経済とが相いれない性格のものであったことに由来しているようか。

〔問〕

- 1 空欄Aにあてはまる国名は何か。記述解答用紙の解答欄に漢字2字で記入しなさい。
- 2 空欄Bにあてはまる語句は何か。記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 3 空欄Bよりも先に鑄造された貨幣が、飛鳥池遺跡から大量に発見されている。その貨幣は、銘にもとづいて何と呼ばれているか。記述解答用紙の解答欄に漢字3字で記入しなさい。
- 4 空欄Cと空欄Dにあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア C：金 — D：銀
- イ C：金 — D：銅
- ウ C：銀 — D：金
- エ C：銀 — D：銅
- オ C：銅 — D：金
- カ C：銅 — D：銀

5 下線 a の説明で誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 布は調としておさめられた。
- イ 布は庸としておさめられた。
- ウ 布は歳役のかわりに用いられた。
- エ 稲は公出挙に用いられた。
- オ 穀は租として京へ貢進された。

6 下線 b の説明で正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 運脚は租・庸・調をまとめて京へ運んだ。
- イ 役夫と運脚は賤民の労役であった。
- ウ 運脚は駅戸から採用されるきまりであった。
- エ 役夫のなかには雇役の民がいた。
- オ 役夫とは防人のことである。

7 下線 c に関する説明で誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア この詔は「風土記」の編纂開始後に出された。
- イ この詔は藤原不比等の生存中に出された。
- ウ この詔は元明天皇の時代に出された。
- エ この詔は養老律令の施行以前に出された。
- オ この詔は『続日本紀』に載せられている。

8 空欄 E にあてはまる語句は何か。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 墾田支給 イ 任官 ウ 宅地支給 エ 叙位 オ 調庸免除

〔Ⅲ〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

政治の動きを見るときに、ともすればカリスマ的な第一人者の有様に目を奪われがちであるが、そうした第一人者を支えている人や組織こそが重要であろう。鎌倉幕府を開いた源頼朝は、妻の政子や、多くの東国武士、さらには京下りの官僚らによって支えられたことが成功につながった。3代將軍実朝が暗殺された後、事実上の鎌倉殿として「尼將軍」とも称された政子を支え、実権を握っていたのは弟の A ともいわれる。「御成敗式目」の制定で有名な北条泰時は叔父の時房が連署としてよく助けており、また「御成敗式目」制定の趣旨を弟の B に送っていることから、B を頼りにしていたこともうかがえる。鎌倉時代も後半になると、得宗の被官、特にその筆頭である内管領が政治に大きな影響を及ぼすようになった。しかしこれは、第一人者の支えとなったというよりは、専横をふるった平頼綱が北条貞時によって滅ばされたり、北条高時に重用されて同様に専横をふるった長崎高資が鎌倉幕府滅亡の一因とされたりしていることからみると、混乱や衰退を招いているといえる。いずれにせよ、それだけ第一人者を左右する位置にいたということであろう。

室町幕府の成立当初、將軍足利尊氏を支えて活躍したのは、執事の高師直だった。その急進的改革路線が、尊氏の弟直義との対立に至り、観応の擾乱で滅びるが、その活躍ぶりは『太平記』に生き生きと描かれている。室町幕府において將軍を直接支える地位は、執事が発展した管領である。これには誰もがなれたわけではなく、斯波・細川・畠山の三氏に限られていた。鎌倉に置かれた鎌倉府においても鎌倉公方を支える関東管領がおり、しだいに山内上杉氏に固定されていった。室町期のなかばから守護の家では、家臣の筆頭の実力が主人を上回るような現象もみられるようになり、その一部は戦国大名へと成長していった。いわゆる下剋上であるが、これは第一人者とそれを支える存在が微妙なバランスの上に権力を成り立たせていたことを示していよう。

〔問〕

- 1 下線 a のうち、鎌倉幕府の侍所初代長官（別当）に就任したのは誰か。その姓名を記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

- 2 空欄Aと空欄Bに該当する人名の組み合わせで正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア A：時政－B：長時 イ A：義時－B：長時 ウ A：義時－B：重時
エ A：重時－B：時頼 オ A：時政－B：時頼
- 3 下線bと対立した有力御家人安達泰盛が一族とともに滅ぼされた事件の名称を、漢字4字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 4 下線cに関連して、南北朝～室町期の著作物に関して説明した文のうち誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 『梅松論』は南北朝内乱を武家の立場から著している。
イ 今川了俊の著した『難太平記』には、『太平記』の欠陥を正す意図があった。
ウ 二条良基は連歌集である『新撰菟玖波集』を編纂した。
エ 後醍醐天皇は朝廷の年中行事について『建武年中行事』を著した。
オ 『増鏡』には鎌倉時代の歴史が描かれている。
- 5 下線dに関連する文のうち正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 畠山氏は義敏と義廉が家督を争って、応仁の乱の一因となった。
イ 斯波氏は政長と義就が家督を争って、応仁の乱の一因となった。
ウ 細川勝元は応仁の乱の終結後に死去した。
エ 細川政元は足利義材（義種）を將軍の地位から退けた。
オ 三好長慶は畠山氏の家臣から台頭して畿内に勢力を築いた。
- 6 下線eは足利尊氏の子息が就任した後、彼の子孫が世襲する。その尊氏の子息とは誰か。姓名を記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 7 下線fに関連して、出身が守護の家でない戦国大名の組み合わせとして正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 今川義元と大友宗麟 イ 斎藤道三と毛利元就 ウ 今川義元と斎藤道三
エ 大友宗麟と毛利元就 オ 大友宗麟と斎藤道三

〔IV〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

江戸時代は石高制の社会であった。土地は石高で把握され、検地帳に記載された。大名は將軍より1万石以上の知行地を給わり、領国を經營した。將軍や大名などの幕藩領主は百姓から A 制によって年貢を徴収した。幕藩領主は当初、百姓からぎりぎりまで年貢を取り立てた^aが、やがてそうした農政は転換され、百姓の手元に余剰生産物が残るようになった。

江戸時代の農民は小家族經營が主であった。幕藩領主はこうした小農民を**本百姓**^bと位置づけ、年貢の負担者とした。幕府は本百姓の没落を防ぐために田畑永代売買の禁を發し、さらに B 令を出した。「たわけ」という言葉はこれに由来するといわれる。少ない労働力で農作業を行うために、人力で田畑を深く耕すための C 鍬や、こき箸に代わって能率よく脱穀できる千齒扱などの農具が普及した。

江戸時代に農業生産力を高める方法は、一つは耕地面積の拡大だった。各地で新田開發が行われ、18世紀前期までに、田畑は約300万町歩に増大した。しかしその反面、新田開發にともなう問題も深刻化した^c。農業生産力を高めるもう一つの方法は、単位面積当たりの収穫を増やすことである。17世紀後半以降各地で、農業の技術的側面を記述した著作物が著された^d。

〔問〕

- 1 空欄Aに入る語句を、漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

- 2 下線 a について。本多正信が述べた言葉として正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 「君下に武士を立て、衆人の直耕せし穀産を貪り」と述べた。
イ 「百姓共は死なぬ様に、生きぬ様にと合点致し、^{もうしつこう}収納申付様に」と述べた。
ウ 「胡麻の油と百姓は絞れば絞るほど出るものなり」と述べた。
エ 「百姓は財の余らぬやうに、不足なきやうに治むること道なり」と述べた。
オ 「五十戸良が声は寝屋度まで来立ち呼びひぬ」と述べた。
- 3 下線 b についての記述として誤っているものを2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 名請人である。
イ 地券を所持する。
ウ 村政に参画する。
エ 被官と呼ばれる。
オ 五人組を組織する。
- 4 空欄 B に入る語句を、漢字4字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 5 空欄 C に入る語句を、漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 6 下線 c に関する幕府の対策として正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 質地小作を禁じ、開発を抑制した。
イ 足高を廃止し、開発を抑制した。
ウ 「諸国山川掟」を出し、開発を抑制した。
エ 米納年貢を止め、開発を抑制した。
オ 四木三草の栽培を禁じ、開発を抑制した。
- 7 下線 d について。宮崎安貞が著した著作物として正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 『耕稼春秋』 イ 『百姓伝記』 ウ 『農業全書』 エ 『老農夜話』 オ 『会津農書』

〔V〕 次の文を読んで、間に答えなさい。

1873年、アメリカから帰国した A は、洋学者の西村茂樹らと相談の上、明六社を結成した。同社は翌年、機関誌『明六雑誌』を創刊、西洋の知識を日本に紹介し多大な影響を与えた。『明六雑誌』創刊とほぼ時を同じくして、征韓論をめぐる争いで政府を去った元参議を中心とする人々が民撰議院設立建白書を提出した。これをきっかけに議会開設をめぐる論争がくりひろげられ、特に大井憲太郎と加藤弘との間で^a交わされた論争は世間の注目を引いた。以後、^b議会開設を求める動きは全国に広がっていく。

その一方政府部内でも、憲法制定・議会開設を求める動きがあったが、明治十四年の政変によって、議会の早期開設とイギリス流の政党内閣制度の導入を主張していた参議 B が政府を追放されると、伊藤博文らによって、君主権力の強いドイツの憲法にならう形で憲法の作成が進められ、1889年大日本帝国憲法が公布される。この憲法に基づき、^c翌年帝国議会が開設された。

それ以後も政党内閣の実現を求める声はやまなかった。大正時代に入り、大正デモクラシーと呼ばれる潮流のなかで、^d吉野作造の民本主義、美濃部達吉の天皇機関説などの学説が、帝国憲法のもとでの民主的政治の実現を後押しした。そして大正末期から昭和初期まで、^e二大政党が交代で政権を担当する「憲政の常道」の時代が続いた。しかし五・一五事件で、立憲政友会の犬養毅首相が殺害されると、政党内閣の時代は終わりを告げた。五・一五事件後も軍部のクーデタの動きはやまず、1936年には^f陸軍の一部青年将校らがクーデタを起こし、首相官邸・警視庁などを襲撃した。以後、軍部の政治的発言力は^gいっそう強まった。

政党内閣が復活するのは第二次世界大戦後のことである。1946年に^h日本国憲法が制定されたが、この憲法において国会は国権の最高機関と位置づけられ、首相は国会議員による投票によって指名されることとなり、今日までその仕組みが続いている。

〔問〕

- 1 空欄Aの人物は、のち初代文部大臣に就任した。その人物は誰か。漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 2 下線aの提出者のうち、のち大同団結運動を率い、途中で通信大臣として入閣した人物は誰か。人名を漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 3 下線bの人物に関する説明として正しいものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 大同団結運動の分裂に際し、大同協和会を組織した。
 - イ フランスに留学して法学を学んだ。
 - ウ 朝鮮に政変を起こす計画を立てたが、事前に発覚し逮捕された。
 - エ 『東洋自由新聞』の主筆をつとめた。
 - オ 東洋社会党を結成した。
- 4 空欄Bに当てはまる人名を漢字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 5 下線cに関する説明として誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 岩倉使節団に随行して欧米を視察した。
 - イ 工部卿に就任し、殖産興業政策をすすめた。
 - ウ 大久保利通の没後、内務卿に就任した。
 - エ 立憲政友会の総裁として内閣を組織した。
 - オ 初代韓国総督をつとめ、韓国内政に干渉した。
- 6 下線dに関する説明として誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 衆議院と貴族院の二院で構成されていた。
 - イ 衆議院議員は国民による選挙によって選ばれた。
 - ウ 貴族院議員はすべて華族のなかから選ばれた。
 - エ 予算の議定や法律の制定に関する権限を有していた。
 - オ 日本国憲法下の国会と比べてその権限は小さいものであった。
- 7 下線eの指導下にあった赤松克麿らによって1918年に結成された団体の名称は何か。漢字3字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 8 下線fの時期に関する説明として誤っているものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 第二次護憲運動の結果として護憲三派による加藤高明内閣が誕生した。
 - イ 浜口雄幸内閣の井上準之助蔵相は金輸出を旧平価で解禁した。
 - ウ 立憲政友会はワシントン海軍軍縮条約締結を統帥権干犯として攻撃した。
 - エ 政党の疑獄事件などが発覚し政党の腐敗に対する批判が高まった。
 - オ 元老は議会の多数を占める政党の党首を首相として推薦した。
- 9 下線gに関する説明として誤っているものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
 - ア 青年将校らは『日本改造法案大綱』の著者北一輝の思想的影響を受けていた。
 - イ 陸軍内では統制派と皇道派の対立があり青年将校らは統制派に属した。
 - ウ 青年将校らは、首相官邸や国会議事堂を占拠した。
 - エ 斎藤実内大臣、高橋是清大蔵大臣、渡辺錠太郎教育総監らが殺害された。
 - オ 東京に戒厳令が施行され、青年将校らは反乱軍として鎮圧された。

10 下線 h の憲法下で首相に選ばれた人物のうち、自由民主党を与党とする内閣を組織したことの無い人物の組み合わせとして、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 吉田茂、片山哲、芦田均、細川護熙、羽田孜
イ 片山哲、芦田均、羽田孜、村山富市、鳩山由紀夫
ウ 片山哲、芦田均、鳩山一郎、細川護熙、羽田孜
エ 吉田茂、芦田均、細川護熙、村山富市、鳩山由紀夫
オ 片山哲、鳩山一郎、細川護熙、村山富市、鳩山由紀夫

〔VI〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

狩野派は、室町時代から明治維新に至るまでおよそ400年の間、日本の絵画界に君臨し続けた巨大な画家組織である。その初祖を狩野正信といい、足利義政が京都の東山に営んだ邸宅の障子絵を制作するなど、東山文化^aの時代に室町幕府の御用絵師として活躍したことが知られる。

その息子で2代目の元信は、引き続き室町幕府の御用絵師をつとめた。また、土佐派に接近して伝統的な **A** の手法を取り入れ、それまで漢画主体であった狩野派のレパートリーを拡大した。多彩な手法を使い分けながら大量生産を可能にするため、一族門弟を育成して工房体制を築き、また將軍家以外に幅広い顧客層の獲得にもつとめた。狩野派が後世「天下画工の長」として画壇を支配するための基礎固めは、元信によっておこなわれたのである。

そして元信の孫である狩野永徳の時代になると、元信によって整備された流派体制が力を発揮する時がやってきた。織田信長が造営した **B** をはじめ、権力者たちは競って雄大な城郭を築き、そこに付属する居館の襖や壁を華麗な障壁画で飾った。大量の障壁画を限られた納期で描きあげるには、一族門弟をあげての共同制作が不可欠であり、それができる画工集団は狩野派をおいて他になかった。

永徳は **B** などにおいて数多く障壁画を手がけるなかで、描かれるモチーフを単純化し、巨大な建築に見合う雄大な画面構成を考案することによって、さらに効率的な大量生産を可能にした。永徳が作り上げたこのような画面構成は大画様式と呼ばれており、永徳の門人であった **C** によって継承されたばかりでなく、他流派であり、永徳にとってはライバルというべき **D** たちの画風にも大きな影響を与えた。狩野派の様式が、流派をこえて時代をおおう様式となったのである。

また永徳は、当時、経済力を蓄えて台頭してきた都市民衆の生き生きとした暮らしぶりを題材とする「洛中洛外図屏風」のような風俗画も描いた。現実生活を謳歌する民衆を主題に据えた風俗画の流行は、この時代の文化の特色のひとつであり、そのなかには次ページの図の「**E** 屏風」のように、ヨーロッパ人たちが日本へ渡来する情景を描き出し、大航海時代の西洋と日本の交流を活写した、この時代ならではの風俗画作品も見ることができる。

〔問〕

1 下線 a の文化として正しいものはどれか。2つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 永保寺開山堂 イ 「瓢鮎図」 ウ 天竜寺庭園
エ 「四季山水図巻（山水長巻）」 オ 慈照寺東求堂

2 空欄 A に入る語句として正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 水墨画 イ 仏画 ウ 大和絵 エ 似絵 オ 東錦絵

3 空欄 B に入る語句を漢字3字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

4 空欄 C に入る人名として正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 狩野内膳 イ 狩野探幽 ウ 狩野長信 エ 狩野秀頼 オ 狩野山楽

5 空欄 D について。智積院襖絵「楓図」や「松林図屏風」の作者として知られるこの人物はだれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 俵屋宗達 イ 長谷川等伯 ウ 土佐光信 エ 海北友松 オ 高階隆兼

6 空欄 E に入る語句を漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。



〔以下余白〕

